

## 科学・技術フェスタ in 京都 2011 (2011年12月17-18日)

2011年12月17日(土)・18日(日)の両日、国立京都国際会館において「科学・技術フェスタ in 京都 2011」が開催されました。

科学技術フェスタとは、日本の最先端の科学技術の成果などの発表や展示等を行うことで、参加者と科学技術に関わる者が直接対話をしながら科学技術に親しんでいただき、また、青少年が科学技術に興味や関心がもてるような場を提供するものです。メインホールでは、ノーベル賞受賞者や宇宙飛行士の講演のほか、サイエンスショーやパネルディスカッションなど多くのプログラムが催されました。イベントホールでは、WPI 拠点、各研究機関、大学、民間企業等がブースを開設し、各々の研究活動や成果を一般市民にわかりやすく説明を行いました。

WPI は昨年に続き全拠点で合同ブースを出展し、AIMR はポスターやビデオで機構の紹介をしたほか、体験実験コーナーを設け、偏光板を使って結晶とガラスを見分ける実習をした後で、金属ガラスの解説をし、材料の「科学」に親しんでいただきました。AIMR ブースへの来場者は600名を超え、金属ガラスの実物を間近で見えていただく等して大変好評でした。

17日には、古川元久科学技術政策大臣、中川正春文部科学大臣がイベントホールを視察しました。AIMR ブースにおいても、スタッフに熱心に質問されるなど興味を持っていただけたようです。

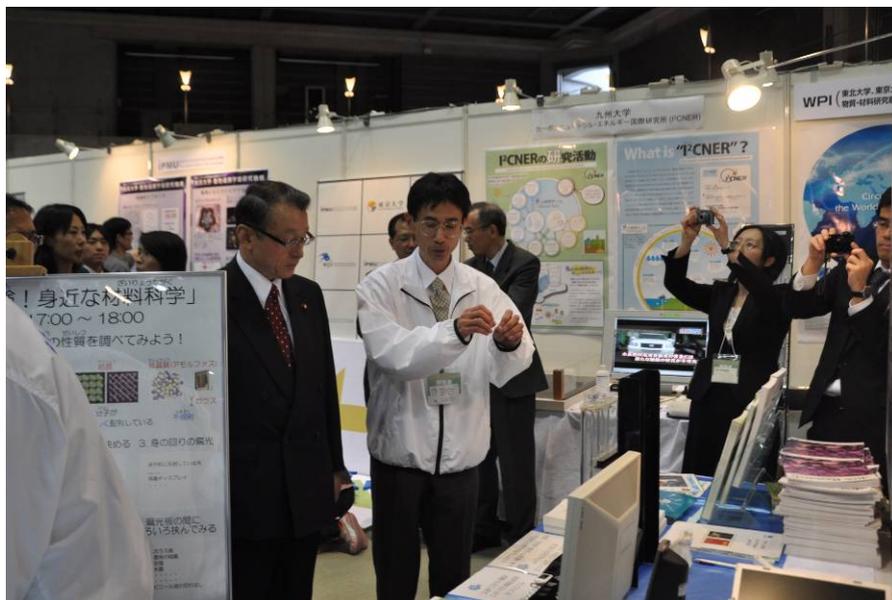
2日間を通じて、全体の参加者は延べ5,000名強となり、盛況のうちに幕を閉じました。



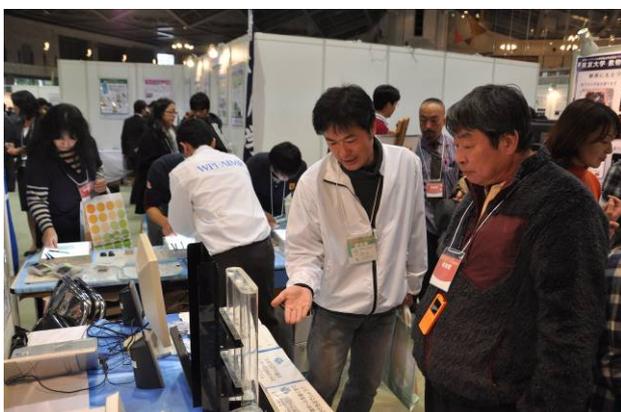
WPI 各拠点の展示ブース



AIMR のブース



中川文部科学大臣の視察



来場者への説明